

2015(117)



# 右馬允だより

このところの日の暑さはぶり返したおな厳しさを  
朝の寒さは秋本番となりました。本当に暑い日は1ヶ月足ら  
ずやんでくれる。先月27日のたまりで夏掛けには1おな  
悩んでいたことが書いてあります。あの後すぐに夏掛け  
(お布団の詰り)に替えました。今現在は冬掛けにはな  
いと寒いようになっています。庭木と気がつけば色づき  
はじめ秋の気配が漂いはじめ。秋虫の鳴き声も  
高らかいです。ほんの数日だけの話ですが、大層とは  
思之ぬ暑さ。繞り山嶺得の涼風が、なつかしいとい  
うについに夏を体験しました。皆様へとはどうは  
如何でしたか。ご無事でこの暑さ乗り越えられましたか。

お盆の日必ず来て下さるお客様が、教組いら  
して来て本当にうれしく思います。姉一家をはじめ  
親族とお参りに来られるので、お正月以上のたまりだ  
と改めて感じ入った次第です。夏の脱け殻(蝉の脱け殻に  
似ていると思ったので)気と力を抜けた、気持ちいい状態の  
解放感を味わいながら(ちわと、畑の草は放しと)今  
この時間を楽しんでいます。

パリ朝時代の允のお客様で宇佐美様という方から、立派な  
蚊帳をいただきました。この夏は吊り、放りして大[情を]満  
ち楽しみました。ベッドと紐のグラティツヨンも素敵で  
中から外の風景が実に美しい。何かにつけては入り  
庭の景色に至福の時を過ごしておりました。あの透け  
見える世界の大好きなところの頃、夏の楽しみの一ツはこの蚊帳  
でした。右馬允には網戸も無く蚊帳も、どうしても必要でこの  
風景を残して置きたいと、最高に有難い逸品で  
ございました。右馬允は皆様に夏を過ごし、今日まで  
来ることも来ていること深く感じ、改めて心よりお礼を申し  
上げたい気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

今日は允の32才のお誕生日。あの日はお覚  
えて、好母、ス美、私、方、正介、懐かしい。32年前の1日か  
過ぎようとしています。人生で一番いい頃を生きていたおな  
大変な複雑な思いですが、あの頃は戻りたいと思わない  
のは不思議です。もう来たことはないから、静かな時  
の方を望んでいます。

このシーズン最後の鮎釣りに夢中。正介、允、充、考  
えてみれば、健気で涙ぐましいおなです。お客様と喜ばせ  
てあげたい一心で、今と別では冷たい氷の中に入っ  
ていくので、おなから...でも、それが楽しくて仕方ない。  
うまく出来ています。好母は、コロケ作り  
に励みます。おなは大好きな人です。好母のコロケが。